

検査内容変更および中止のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
このたび下記検査項目におきまして、検査内容を変更させていただきます。
ご案内いたします。
何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

敬 白

記

◆ 変更実施日

平成22年4月1日（木）ご依頼分より

◆ 変更項目

検査項目	ガストリン放出ペプチド前駆体（ProGRP）	コプロポルフィリン（血液）
	淋菌およびクラミジアトラコマチス rRNA同時同定	ウロポルフィリン（血液）
	結核菌DNA	プロトポルフィリン（血液）
	MAC DNA（マイコバクテリウムアビウム・ イントラセラー）	赤血球遊離プロトポルフィリン
	便中ヘリコバクターピロリ抗原	染色体検査
	リウマチ因子（RF）定量	病理染色標本作製
	IgG型リウマチ因子	

◆ 中止項目および実施日

平成22年3月30日（火）ご依頼分をもって受託中止

案内書 掲載頁	項 目 コードNo.	検 査 項 目	備 考
118	0918 7	潜血反応	検査試薬製造中止のため。

変更一覧表

案内書掲載頁	項目コードNo.	検査項目	変更箇所	新	現	備考
43	2636 6	ガストリン放出ペプチド前駆体 (ProGRP)	検査方法	CLEIA	ELISA	測定試薬の変更。所要日数の短縮。その他、検査方法参考文献の変更。
			材 料	血漿	血清	
			検 体 量	0.4 mL	0.3 mL	
			容 器	C → X (EDTA-2Na)	X	
			所要日数	2 ~ 4日	3 ~ 5日	
72	6197 5	淋菌および クラミジアトラコマチス rRNA同時同定	材 料	分泌物、部分尿、 <u>咽頭ぬぐい液</u>	分泌物、部分尿	咽頭ぬぐい液の追加。詳細は4ページをご参照ください。
73	2564 4	結核菌DNA	項目コードNo.	6311 5	2564 4	現試薬販売中止による測定試薬の変更。その他、検査方法参考文献の変更。
			項目名称	結核菌DNA (リアルタイムPCR)	結核菌DNA	
			検査方法	PCR (リアルタイムPCR)	PCR	
73	2565 1	MAC DNA (マイコバクテリウムアビウム・イントラセルラー)	項目コードNo.	6312 2	2565 1	
			項目名称	MAC DNA(マイコバクテリウムアビウム・イントラセルラー)リアルタイムPCR)	MAC DNA(マイコバクテリウムアビウム・イントラセルラー)	
			検査方法	PCR (リアルタイムPCR)	PCR	
74	2887 8	便中ヘリコバクターピロリ抗原	検査方法	ELISA	EIA	測定試薬の変更。その他、検査方法参考文献の変更。専用容器形状が変更になります。
			基 準 値	陰性	(-)	
77	8716 0	リウマチ因子(RF)定量	検査方法	免疫比濁法	ラテックス凝集法	より精度の高い測定試薬への変更。所要日数の短縮。その他、検査方法参考文献の変更。
			基 準 値	10 U/mL以下	20 IU/mL以下	
			単 位	U/mL	IU/mL	
			所要日数	2 ~ 4日	3 ~ 5日	
77	0490 4	IgG型リウマチ因子	検査方法	ELISA	EIA	現試薬販売中止による測定試薬の変更。その他、検査方法参考文献の変更。
107	0946 9	コプロポルフィリン (血液)	容 器	G3 (遮光)ヘパリン入り	G (遮光)ヘパリン入り	現容器製造中止による容器変更。
107	0947 6	ウロポルフィリン (血液)	容 器			
107	0976 5	プロトポルフィリン (血液)	容 器			
107	5657 0	赤血球遊離 プロトポルフィリン	容 器			

変更一覧表

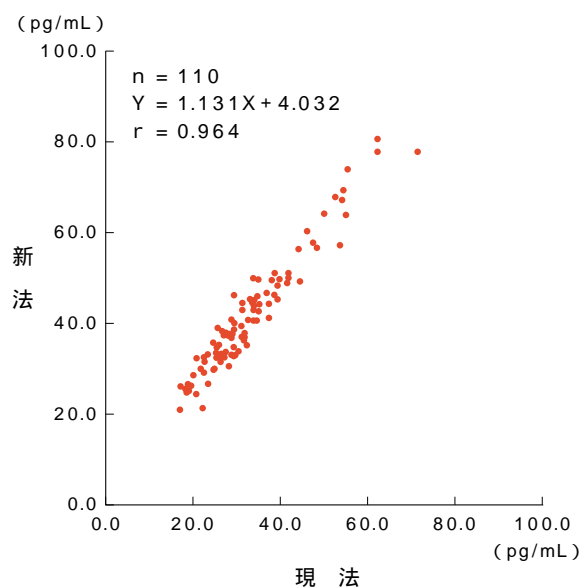
案内書 掲載頁	項 目 コードNo.	検 査 項 目	変更箇所	新	現	備 考
127 ~		染色体検査	報告内容	ISCN2009に準拠	ISCN2005に準拠	最新の染色体核型記載の国際規約 (ISCN) に基づく報告表記への変更。
167	5653 1	病理染色標本作製	染色改訂	ボディアン染色の削除		

ガストリン放出ペプチド前駆体(ProGRP)

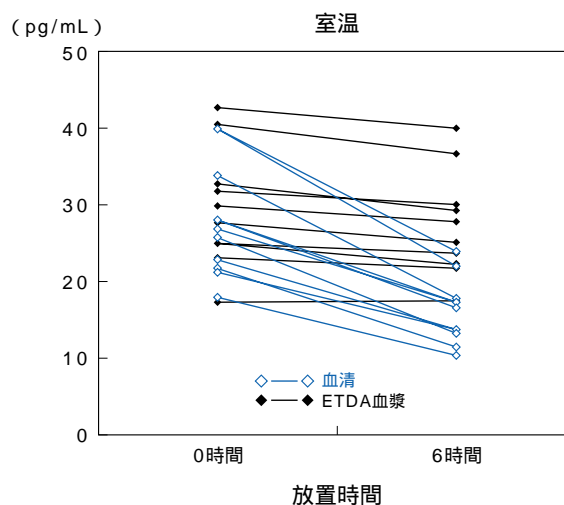
本検査におきまして、測定試薬を変更させていただきます。新試薬では、より保存安定性の高い材料に変更させていただきます。併せて、検査方法、検体量、容器および検査方法参考文献を変更させていただきます。また、所要日数を短縮いたします。

項目 コードNo.	検査項目	変更箇所	新	現
2636 6	ガストリン放出 ペプチド前駆体 (ProGRP)	検査方法	CLEIA	ELISA
		材 料	血漿	血清
		検 体 量	0.4 mL	0.3 mL
		容 器	C → X (EDTA-2Na)	X
		所要日数	2 ~ 4日	3 ~ 5日

▶ 現法と新法の比較



▶ 保存安定性の比較



新検査方法参考文献

山本 典江, 他: 医療と検査機器・試薬 32(2): 263~267, 2009.

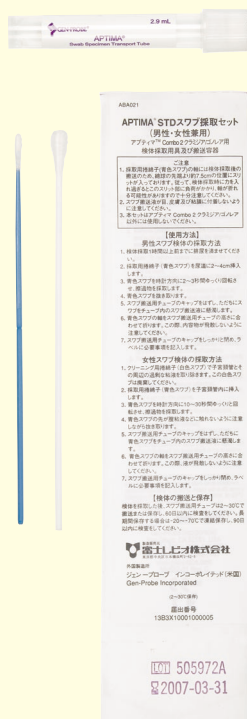
淋菌およびクラミジアトラコマチスrRNA同時同定

昨年、保険算定条件として追加された検査材料(咽頭ぬぐい液)を、総合検査案内に追記させていただきます。

項目コードNo.	検査項目	変更箇所	新	現
6197 5	淋菌およびクラミジアトラコマチスrRNA同時同定	材 料	分泌物、部分尿、 <u>咽頭ぬぐい液</u>	分泌物、部分尿

咽頭ぬぐい液検体採取方法

F2



咽頭ぬぐい液採取の場合、白色スワブは使用しません。

(分泌物・咽頭ぬぐい液用)

内 容 ラウリル硫酸リチウム、添加剤

貯蔵方法 室温

有効期間 1 年

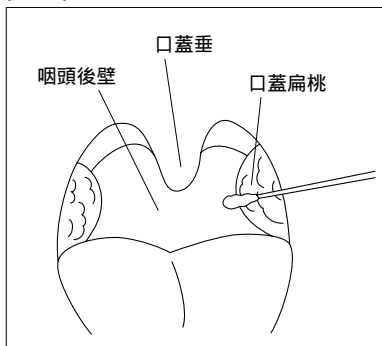
咽頭からの採取(咽頭スワブ検体)

1. 採取用スワブ(青色)で扁桃の側面部分をしっかりと擦過し、擦過物を採取します。(図1)
2. 直ちに青色スワブをスワブ搬送用チューブ内のスワブ搬送液に混和します。
3. 内容物が飛散しないよう注意しながら、青色スワブを所定の位置で折ります。(図2)
4. スワブ搬送用チューブのキャップをしっかりと閉めて冷蔵保存にてご提出ください。(図3)

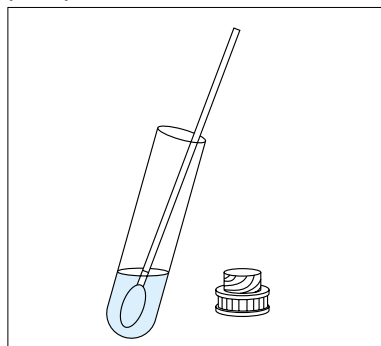
【ご注意】

検体採取時に無理な力がかかると、綿棒が折れる可能性がありますので、十分ご注意ください。

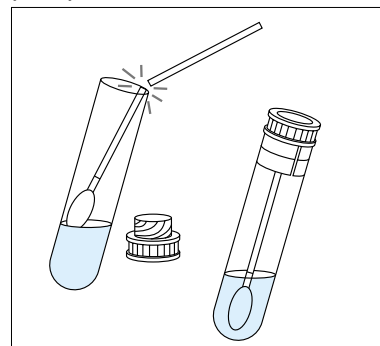
(図1)



(図2)



(図3)



結核菌DNA

MAC DNA(マイコバクテリウムアビウム・イントラセルラー)

本検査におきまして、現試薬販売中止により、測定試薬を変更させていただきます。
併せて、項目コードNo.、項目名称、検査方法を変更させていただきます。

項目コードNo.	検査項目	変更箇所	新	現
2564 4	結核菌DNA	項目コードNo.	6311 5	2564 4
		項目名称	結核菌DNA (リアルタイムPCR)	結核菌DNA
		検査方法	PCR (リアルタイムPCR)	PCR
2565 1	MAC DNA (マイコバクテリウムアビウム・イントラセルラー)	項目コードNo.	6312 2	2565 1
		項目名称	MAC DNA (マイコバクテリウムアビウム・イントラセルラー)リアルタイムPCR)	MAC DNA (マイコバクテリウムアビウム・イントラセルラー)
		検査方法	PCR (リアルタイムPCR)	PCR

▶ 現法と新法の比較

結核菌DNA

(n = 112)

		現 法	
		陽性	陰性
新 法	陽性	88	0
	陰性	0	24

MAC DNA(マイコバクテリウムアビウム・イントラセルラー)

アビウム

(n = 89)

		現 法	
		陽性	陰性
新 法	陽性	67	0
	陰性	0	22

イントラセルラー

(n = 75)

		現 法	
		陽性	陰性
新 法	陽性	53	0
	陰性	0	22

新検査方法参考文献

米丸 亮, 他: 日本呼吸器学会雑誌47(12): 1070~1076, 2009.

便中ヘリコバクターピロリ抗原

本検査におきまして、測定試薬を変更させていただきます。試薬変更に伴い、検査方法、基準値の表記が変更となります。また、専用容器が変更となります。

項目コードNo.	検査項目	変更箇所	新	現
2887 8	便中ヘリコバクターピロリ抗原	検査方法	ELISA	EIA
		基準値	陰性	(-)


▶ 現法と新法の比較

(n = 94)

		現法	
		(+)	(-)
新法	陽性	74	4
	陰性	4	12

▶ 新容器の形状と検体取り扱い方法

d7



採便量の目安

氏名

年齢

才 男・女

採取日

年 月 日

希釈液 1.0mL

内 容 リン酸バッファー 1.0 mL

貯蔵方法 室温

有効期間 1 年

1. 採取ブラシの柄に巻かれたラベルを広げて所定事項を記入し、もとのとおり巻きつけてください。
2. 採取ブラシを便に突き刺し、ブラシのあいだに便が入るようにブラシを回転させながらとってください。
3. 採取ブラシを、アルミシールを剥がした容器に差し込み、しっかりねじ込んで軽く5～6回振ってください。
4. 容器を添付のビニール袋に入れて冷暗所に保管し、すみやかにご提出ください。

(注)青キャップは絶対にはずさないでください。

新検査方法参考文献

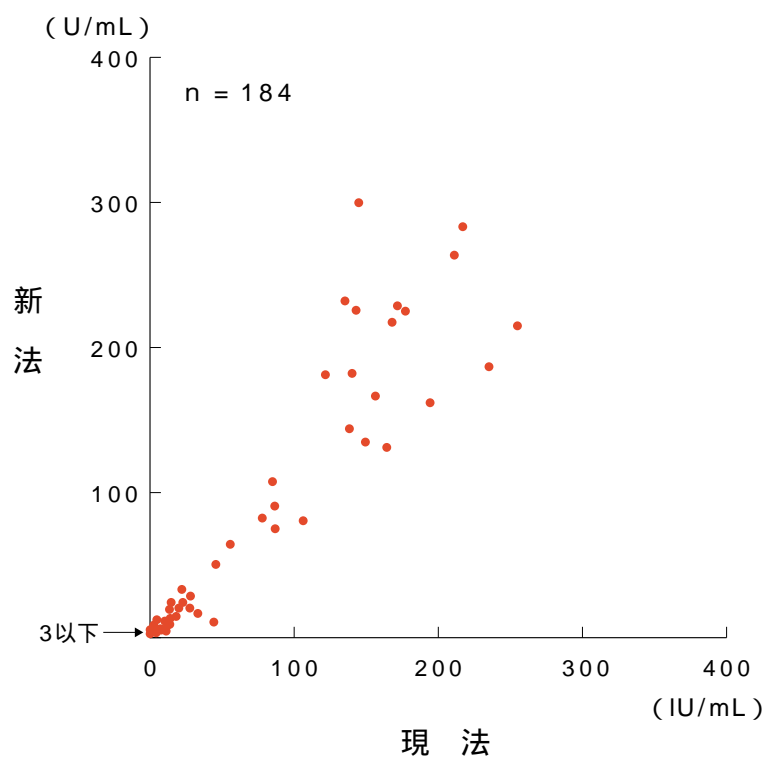
福田 雅之助, 他: 医学と薬学62(3): 501～506, 2009.

リウマチ因子(RF)定量

より精度の高い試薬に変更いたします。併せて、検査方法、基準値、単位を変更させていただきます。また、所要日数が短縮されます。

項目 コードNo.	検査項目	変更箇所	新	現
8716 0	リウマチ因子(RF) 定量	検査方法	免疫比濁法	ラテックス凝集法
		基準値	10 U/mL以下	20 IU/mL以下
		単位	U/mL	IU/mL
		所要日数	2~4日	3~5日

▶ 現法と新法の比較



新検査方法参考文献

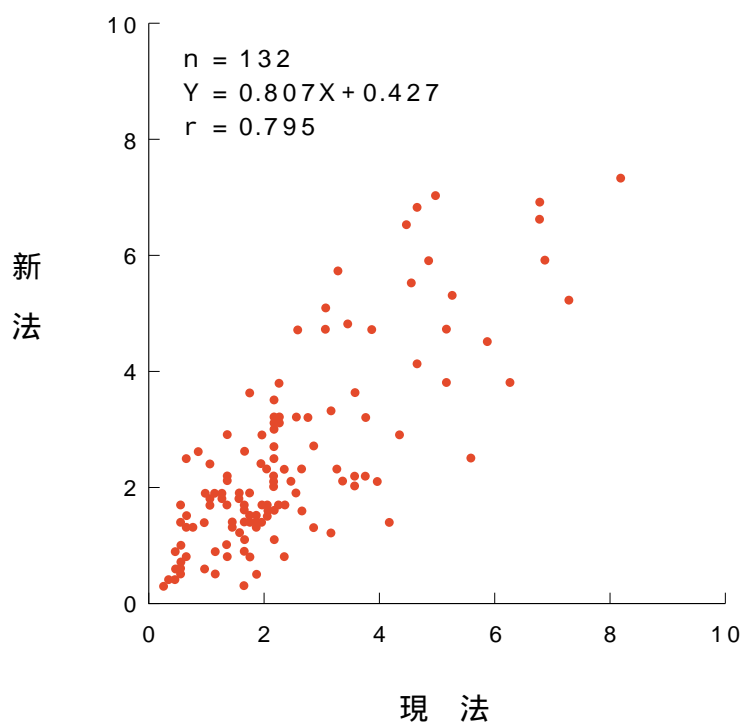
向田 直史, 他: 臨床検査31: 603~609, 1987.

IgG型リウマチ因子

現試薬販売中止に伴い、測定試薬を変更させていただきます。併せて検査方法を変更させていただきます。

項目 コードNo.	検査項目	変更箇所	新	現
0490 4	IgG型リウマチ因子	検査方法	ELISA	EIA

▶ 現法と新法の比較



新検査方法参考文献

栗原 夕子, 他: リウマチ科22(5): 449~510, 1999.

コプロポルフィリン(血液)

ウロポルフィリン(血液)

プロトポルフィリン(血液)

赤血球遊離プロトポルフィリン

容器製造中止のため、容器を変更させていただきます。

項目 コードNo.	検査項目	変更箇所	新	現
0946 9	コプロポルフィリン (血液)	容器	G3 (遮光)ヘパリン入り	G (遮光)ヘパリン入り
0947 6	ウロポルフィリン (血液)	容器		
0976 5	プロトポルフィリン (血液)	容器		
5657 0	赤血球遊離 プロトポルフィリン	容器		

▶ 新容器形状

G3



真空採血量 4 mL
内 容 ヘパリンNa(83.6単位)
貯 蔵 方 法 室 温
有 効 期 間 18ヵ月

染色体検査

染色体検査のご報告は、核型記載の国際規約“ An International System for Human Cytogenetic Nomenclature (ISCN) ”に準拠した表記をしております。昨年、ISCN2009が公表されたことに従い、このたび最新規約に則った表記に改めさせていただきます。

ISCN2009では、前版(ISCN2005)で変更した内容の問題点の改善や要望が反映され、一部の異常症例の核型記載が変更されております。併せて、検査報告書裏面の説明資料も改定させていただきます。

核型記載変更例

	新(ISCN2009)	現(ISCN2005)
核型進化 ¹	46,XX,t(9;22)(q34;q11.2)[3] /47,idem,+8[17] /48,idem,+8,+9[3] /49,idem,+8,+9,+11[12]	46,XX,t(9;22)(q34;q11.2)[3] /47,sl,+8[17] /48,sdl1,+9[3] /49,sdl2,+11[12]
末端部連合 ²	46,XX,tas(12;13)(q24.3;q34)	46,XX,tas(12;13)(qter;qter)
転座由来の派生染色体 ³	48,XX,+1,+der(1)(1;16)(p13;q13), t(1;16)	48,XX,+1,t(1;16)(p13;q13), +der(1)t(1;16)
同腕染色体	45,XX,-21,i(21)(q10)	45,XX,i(21)(q10)

1: ISCN2005では、クローンの進展は幹細胞系をsl(stemline)とし、関連したサブクローンをsdl1(sideline1)、sdl2...、と表記することを推奨していたが、解釈が複雑で一部の症例においては記載が困難な場合があった。このためISCN2009では、ISCN1995で使用していたidemが併記された。当社では、より判り易い表記としてidemを採用する。

2: 染色体末端部連合は、切断点に末端バンドを表記する。

3: 相同染色体の異常は異常略語のアルファベット順で表記する。転座由来の派生染色体も同様に表記する。

参考文献

Lisa G. Shaffer, et al: ISCN 2009: An International System for Human Cytogenetic Nomenclature, 2009.

変更後の検査内容一覧

検査要項が変更になった項目についてまとめております。

項目コード (統一コード)	検査項目	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
2636 6 (5D550)	ガストリン放出 ペプチド前駆体 (ProGRP)	血漿 0.4	C ↓ X	絶凍	2~4	180 4 腫2	CLEIA	46.0 未満 (pg/mL)	
6197 5 (6B615)	淋菌およびクラミジア トラコマチスrRNA 同時同定	分泌物 適量	F2	冷蔵	2~5	300 6	TMA	陰性	他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに十分ご注意ください。 検体採取後、速やかに専用容器に移し、ご提出ください。 採取方法の厳守をお願いします。採取方法を厳守していただかないと、特に分泌物は検体の粘性が高くなり、検査結果をご報告できなくなる場合があります。
		部分尿 2		冷蔵 (1ヵ月)					
		咽頭 ぬぐい液 適量		冷蔵					
6311 5 (6B620)	結核菌DNA (リアルタイムPCR)	喀痰 2.0	ℓ	絶凍	3~5	410 6	PCR (リアルタイム PCR)	陰性	喀痰は容器ℓにて採取してください。他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに十分ご注意ください。
6312 2 (6B621)	MAC DNA (マイコバクテリウムアビ ウム・イントラセルラー) (リアルタイムPCR)	喀痰 2.0	ℓ	絶凍	3~5	430 6	PCR (リアルタイム PCR)	アビウム 陰性 イントラセルラー 陰性	&ヤ
2887 8 (5E068)	便中ヘリコバクター ピロリ抗原	糞便 (専用スティ ック1本)	d7	冷蔵	2~4	150 5	ELISA	陰性	必ず専用容器で採取してご提出ください。
8716 0 (5G160)	リウマチ因子 (RF)定量	血清 0.5	↓ X	凍結	2~4	30 5	免疫比濁法	10以下 (U/mL)	&ヨ
0490 4 (5G161)	IgG型リウマチ因子	血清 0.3	↓ X	凍結	2~4	210 5	ELISA	2.0未満	
0946 9 (3J040)	コプロポルフィリン	血液 1.5 (ヘパリン加)	G3	冷蔵 遮光	7~11	210 3	HPLC	1以下 (μg/dL RBC)	遮光してください。 &N
0947 6 (3J050)	ウロポルフィリン	血液 1.5 (ヘパリン加)	G3	冷蔵 遮光	7~11		HPLC	1以下 (μg/dL RBC)	遮光してください。 &N
0976 5 (3J055)	プロトポルフィリン	血液 1.5 (ヘパリン加)	G3	冷蔵 遮光	7~11	280 3	HPLC	30~86 (μg/dL RBC)	遮光してください。 &N
5657 0 (3J055)	赤血球遊離 プロトポルフィリン	血液 1.0 (ヘパリン加)	G3	冷蔵 遮光	3~6		蛍光法 (Piomelli法)	(μg/dL RBC)	遮光してください。 総合検査案内111ページをご参照 ください。 &D

3 : 生化学的検査 () 判断料

4 : 生化学的検査 () 判断料

5 : 免疫学的検査判断料

6 : 微生物学的検査判断料

腫2 : 悪性腫瘍特異物質治療管理料の口。測定方法が精密なもの